

# だいこん（秋播き秋冬穫り）

## 栽培暦

月	7	8	9	10	11	12
作型						
秋まき 秋冬どり だいこん						

## 栽培の特徴とポイント

この作型は、生育適温に最もあった適作型であるが、早まきする場合、病虫害や生理障害が発生し、品質低下につながるので注意する。また、肌の良し悪しが商品性を大きく左右するので、耕土が深く、排水が良いほ場を選択するとともに、深耕や排水対策を積極的に行う。

## 品 種

### 1 秋まき

夏つかさ：耐暑性があり萎黄病、ウイルス病、生理障害に強く晩春から播種できる早太りの青首総太り（トーホク）大根。播種後55日頃から収穫可能で根長35cm、根径7.7cm、根重1.3kg位で尻づまりが良い。地上部は緑葉で立性、葉数が少ないため過繁茂になりにくい。

快進2号：早太り性に優れ、肌がきれいな総太大根。ウイルス、べと、軟腐、萎黄病に強く、耐暑性があり、播種後55～60日で根長35～37cm、根径7.5cm、根重1～1.2kgの総太り型となる。肉質は緻密で、ス入りが遅く、空洞、赤芯の発生も少ない。

耐病総太り：耐病性が強く、早太りで、特にス入りの遅い青首総太り。

（タキイ）適期播きでは播種後60日から収穫可能で、60日程度で根長38cm、根径8cm程度となる。尻づまりが良く、早くから形が整うので若どりも可能で、適期までおけば均整のとれた総太り型となり、揃いも良い。

## 本ば管理

### 1 ほ場準備

#### 1) 耕起

ゆっくりと丁寧に2～3回耕起し、深耕（20cm目標）、碎土率の向上に努める。

#### 2) 施肥・うね立て

(1) 播種の10日前までに苦土石灰を散布し、再び耕起しておく。基幹排水溝は予め設置しておく。

(2) 施肥例を参考に基肥を施用し、畝立てを行う。

(3) 畝幅は120cmとし、水田転換畑や排水不良な圃場は特に高畝（25～30cm目標）とする。

### 施肥例（kg / 10 a）

肥料の種類	総量	基肥	追肥	成分量		
				N	P	K
苦土石灰	100	100				
硝加磷安333	120	120		15.6	15.6	15.6
磷加安S540	40		40	6.0	5.6	4.0
合計				21.6	21.2	19.6

## 2 播種

1) 播種時期 8月中旬～9月中旬

2) 栽植密度

畝幅 120cm × 株間 30cm × 2 条植え = 5,555 株/10a

3) 播種溝に殺虫粒剤を施用する。

4) 種子は 10a あたり 6～8dl 準備し、2 条すじまきとする。

シ - ドテ - プを利用する場合は、株間 30cm、2 粒封入として 2 条まきとする

条間は 40～50cm、覆土は 1～1.5cm 程度にして、必ず鎮圧を行う。

乾燥が続く場合は、降雨を待つて播種する。

## 3 除草剤散布

播種・覆土直後に雑草対策として除草剤を均一に全面散布する。

その後、畝上に発生する草は間引き時に手取りし、溝に雑草がみられる場合は、茎葉処理剤を大根にかからないように散布する。

## 4 管理

1) 間引き

1 回目は本葉 2～3 枚時に葉の形の良い生育中位のものを 5～10cm 間隔に残す。

2 回目は本葉 5～6 枚時に株間 30cm に 1 本立てとなるようにする。

但し、シ - ドテ - プ利用の場合は本葉 5～6 枚時に 1 回のみ行う。

2) 追肥

間引き終了後、播種後 20～25 日頃に条間に追肥を行う。

多量の追肥は、病害の発生を助長するとともに、葉の生育が旺盛となり曲がりにつながるので注意する。

2) 除草

本葉 5～6 枚頃、除草剤をダイコンの葉にかからないように溝に散布する。

## 病害虫防除等

キスジノミハムシ、ネキリムシ、コナガ、アブラムシ：播種時に予防粒剤の散布を徹底するとともに、発生初期からの防除に努める。また、害虫に抵抗性がないようにローテーション防除に努める。

軟腐病：高温多湿、窒素肥料の多用、害虫による食害で発生しやすい。排水対策を徹底するとともに、予防防除に努める。

亀裂褐変、わかか症：排水を徹底するとともに、予防防除を徹底する。

横しま症：横しま症に強い品種を選定するとともに、早まきを避ける。予防防除に努める。

## 収 穫

1 収穫

は種後 55～65 日頃で根径 6～7cm 程度に生育したら、取り遅れないよう L、2 L 中心の適期収穫に努める。

収穫が遅れるとス入り等の品質の低下につながるので注意する。

2 調製出荷

首まわりの黒ズミや汚れ等をを軍手などできれいに落とし、水洗いする。水切り後、病害虫やす入り、空洞症などの発生がないことを確認し、規格に合わせて箱詰めする。

## 販売のポイント

計画生産・計画出荷を図る。揃い・品質は特に注意しながら、調製出荷を行う。